

今回、中央検査部に4月より着任された宇宿先生のご紹介をいたします。

先庄は、特に心臓超音波検査において通常のルーチン検査の監修に加え、循環器内科、心臓血管外科、小児循環器内科の医師を交えた週一回のエコーカンファレンスの開催や、技師への研究指導、さらに熊本県全体の初のプロジェクト「熊本心血管エコー標準化プロジェクト」の結成など、大変アグレッシブに活動されています。

生理検査室の技師から信頼の厚いリーダー的存在の先生です。以下に、先生からの挨拶文を掲載いたします。

中央検査部 助教 宇宿弘輝先生 着任のご挨拶



平成30年4月より中央検査部助教として赴任しております宇宿弘輝と申します。中央検査部で仕事をするのは平成25年以來の2回目となります。前回赴任した時は何かから手を付けてよいかわからず仕事に慣れるのに時間がかかりましたが、今回は、諸先生方、技師の皆様にご協力いただいたおかげで比較的速やかに仕事に慣れることができました。ありがとうございます。

私は熊本大学循環器内科医局に属しており、専門は心臓超音波検査になります。しかしながら心臓超音波検査を本格的に勉強し始めたのは5,6年前からであり、前任の安田先生に比べ心臓超音波検査の知識は不十分です。このため私自身、まだまだ勉強が

必要であり、諸先生方や技師の皆様と一緒に勉強していき、共に成長していければと考えております。

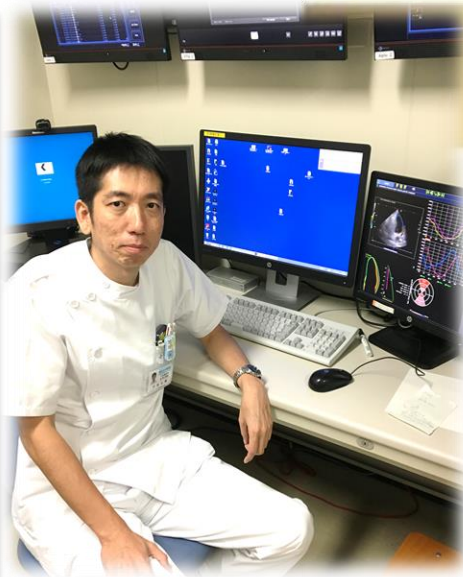


現在私が取り組んでいるプロジェクトに熊本県全体の心血管エコー検査のレベル向上を目的とした「**熊本心血管エコー標準化プロジェクト**」があります。熊本県には合計378の循環器内科もしくは循環器科標榜の医療機関があり、この大部分の医療機関で心血管エコー図検査が施行されていると考えられます。

また各医療機関において心血管エコー図検査の内容は異なっていると考えられますが、その実態は必ずしも誰もが把握しているとはいえません。

(つづく...)





このため本プロジェクトでは、熊本県におけるすべての循環器内科標榜施設にアンケートを行い、心血管エコー図検査の熊本における件数の推移や施設間の検査システム、評価項目、評価法の相違を検討することで当地域の心血管エコー検査の実態を明らかにすることを目的としています。また、心血管エコー機関ネットワークの作成や心血管エコー技師データベースの作成も行うことにより、**熊本県における心血管エコー検査に携わる医師・技師のレベル向上および検査技術の均てん化**を図ることを目指しております。



平成30年4月に赴任して、4か月経ちました。なかなか思い通りにならない点も多いですが、少しずつ環境の整備を行い、皆で楽しく成長できる、そして各診療科から信頼される検査室にしていきたいと考えております。どうぞよろしくお願いいたします。

講習会のご案内

熊本県合同輸血療法委員会では、県内の適正かつ安全な輸血療法の更なる向上を図るために講習会を開催しています。下記のとおり実施しますので、ご興味のある方は、ぜひご参加ください。

第10回熊本県合同輸血療法委員会講演会 プログラム

【日時】平成30年11月3日(土)14:00~17:00

【場所】熊本大学医学部総合研究棟3F 安全講習室

「院内の輸血副作用対応について」

「臨床輸血看護師としての取り組み」

「熊本県下における献血の推進について」

「血液製剤の使用適正化に関するアンケート調査報告」

「輸血機能評価認定制度(I&A)受審のススメ」

「輸血研修会を開催して見えた医療機関の現状と課題」

